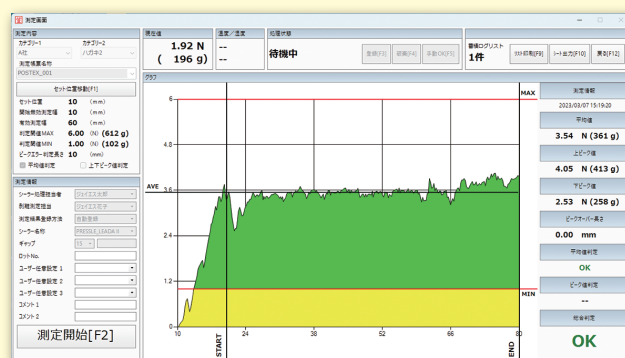




Coreopex APⅢは隠ぺいはがきの剥離力を機械的に測定し通知業務のリスク管理を可能にします。



測定画面

## Coreopex APⅢの強化ポイント

### point 1 起動スピードを強化

Coreopex APⅢは、軽量・高速なアプリ組み込み式のデータベースを使用します。  
パソコン起動後すぐに試験が可能です。

### point 2 表示スピードを強化

測定開始前や、検査ログ検索時に選択する「測定帳票名称」の表示順をユーザーが設定できるようになりました。頻りに測定する帳票を上位に表示させ、すばやく選択できます。

### point 3 IoTへの対応強化

Coreopex APⅢのアプリケーションは、IoTエッジアプリとして動作可能です。スマート処理室・検査室構想に対応し、「アプリの起動」「検査の実施」「アプリの終了」の3つのイベントをIoTサーバで一元管理できます。

## 機能の紹介

- Coreopex APⅢソフトウェアはWindows 10 (64bit版)、Windows 11でご利用いただけます。
- Coreopex APⅢではメニューの測定帳票名称並び順を、ユーザーで設定できるようになりました。よく利用する測定帳票名称を常にリストの上位に表示できます。※Coreopex APⅡでは登録した順番で表示。
- 測定中のグラフ及び現在値をリアルタイム表示。
- 測定帳票の分類分けを可能とし、測定帳票の呼出し時に抽出できます。
- 各ユーザーによる測定設定／細分化されたログ管理等の機能。
- リスト印刷機能／ピーク長さ指定等の機能。
- 表示単位は国際基準に沿ったニュートン表示を採用。※g単位の併記有。
- 全ての操作は、PCのマウスにて可能。設定等の項目はプルダウンリストからの選択により非常に操作しやすい構成となっています。※一部コメント入力等を必要とする場合は、キーボードからの入力となります。
- 帳票毎に『セット位置』『剥離開始位置』『測定範囲』『判定基準(最大／最小／ピーク)』を初期設定登録することにより、選択するだけで帳票に合わせた測定を行います。
- 測定後、測定データを登録すると、試験機は自動で測定開始位置にすばやく戻ります。
- ログ管理画面では、測定時に設定した項目による抽出が可能です。また抽出された項目をCSV形式のファイルへ書き出し、他のアプリケーションで活用できます。  
ログレコードをクリックすると、測定時のグラフを再度表示できます。
- IoTの通信プロトコルMQTTに対応。

Coreopex APⅢ コレオベックス エーピースリー	
モデル名	Coreopex APⅢ
装置構成	試験スタンド+ハンディフォースゲージ ※装置構成にPCは含まれません
付属品	電源ケーブル/本体通信ケーブル/試験分銅(200g)/ハガキクリップ
外形寸法	幅220mm 奥行340mm 高さ850mm(突起部含まず)
重量	約20kg
電源仕様	AC100V~AC240V(50/60Hz) 1.0A アース付3Pコード
使用PCスペック	CPU:第8世代以降のCore i3 以上推奨 /メモリ容量:8GB 以上推奨 / OS:Windows10(64bit版)、Windows11 画面解像度:1,366x768(FWXGA HD) 以上必須
PC側通信ポート	USB Type-Aポート ※USB-RS232C変換ケーブル(付属品)にて装置と接続
荷重測定精度	±0.2% FS
荷重測定単位	N(ニュートン) ※g単位の併記有
荷重測定レンジ	0.00~50.00N
剥離最小単位	1mm
使用温度・湿度範囲	10℃~40℃ 35%~80%RH(氷結・結露なきこと)

- ・ Windowsは米国Microsoft Corporationおよびその関連会社の商標または登録商標です。
- ・ Intel Coreは米国Intel Corporationおよびその関連会社の商標または登録商標です。

※仕様および外観は予告なく変更することがあります。

## TOPPANイクイップメント株式会社

■お問い合わせは下記まで

〒135-0062  
東京都江東区東雲1-7-12KDX豊洲グランスクエア5F  
TEL.0570-077-112  
<https://www.eqpt.toppan.com/>